

第二次中国省長訪日代表团
日本滞在記録

昭和 59 年（1984 年）4 月 7 日～20 日

全 国 知 事

写真あり

(四月九日 ホテルニューオータニ)

鈴木全国知事会会長主催晩さん会

写真あり

(四月九日 全国知事会)

地方制度概況説明 (石見事務総長)

写真あり

都内視察 (四月八日 浅草寺)

写真あり

勝間田衆議院副議長との会見（四月九日）

写真あり

四川自治大臣との会見（四月九日）

写真あり

（四月九日）

藤波内閣官房長官との会見

写真あり

木村参議院議長との会見（四月九日）

写真あり

（四月十五日 兵庫県）

移情閣（孫文記念館）参観

写真あり

阿蘇火口参観（四月十七日 熊本県）

目 次

(写真)	ページ
1 第二次中国省長訪日代表団名簿	1
2 第二次中国省長訪日代表団滞在日程	
(1) 総括	2
(2) 日別	3
付) 地方視察同行者	22
3 全国知事会会長主催歓迎晩さん会概要	
(1) 晩さん会次第	23
(2) 晩さん会出席者	23
(3) 鈴木全国知事会会長あいさつ	25
(4) 布赫団長あいさつ	27
4 地方制度概況説明(要旨)	30
5 記者会見概要	35
6 政府要人との会見要旨	
(1) 田川誠一自治大臣との会見	39
(2) 勝間田清一衆議院副議長との会見	42
(3) 木村睦男参議院議長との会見	45
(4) 藤波孝生内閣官房長官との会見	47
7 資料	
(1) 第二次中国省長訪日代表団団長、団員、秘書長略歴	50
(2) 関係省、自治区の位置図	53

(3)	関係省、自治区の概要	54
(4)	招請状（全国知事会会長から中日友好協会あて）	56
(5)	返書（中日友好協会から全国知事会会長あて）	57
(6)	礼状（訪日代表団から全国知事会会長あて）	57

1 第二次中国省長訪日代表团名簿

- 団 長 内 蒙 古 自 治 区 主 席
布 赫 (Bu He)
- 団 員 河 南 省 省 長
何 竹 康 (He Zhukang)
- 団 員 江 西 省 省 長
趙 增 益 (Zhao Zengyi)
- 団 員 遼 寧 省 副 省 長
王 光 中 (Wang Guangzhong)
- 団 員 新 疆 ウ イ グ ル 自 治 区 副 主 席
黃 寶 璋 (Huang Baozhang)
- 団 員 国 家 経 済 委 員 会 外 事 局 副 局 長
劉 光 溥 (Liu Guangpu)
- 秘 書 長 中 日 友 好 協 会 副 秘 書 長
金 蘇 城 (Jin Sucheng)
- 随 員 中 日 友 好 協 会 事 務 局 員
許 金 平 (Xu Jinping)
- 随 員 中 日 友 好 協 会 事 務 局 員
王 雲 濤 (女) (Wang Yuntao)

2 第二次中国省長訪日代表団滞在日程

(1) 総括

日数	月 日 (曜)	訪問都府県	摘 要	宿 泊
1	4月7日(土)	東 京	14:35 成田着 (CA 927 便)	ホテルニューオータニ (東 京)
2	4月8日(日)	東 京	都 内 視 察	ホテルニューオータニ (東 京)
3	4月9日(月)	東 京	知事会 (地方制度概況説明) 要人会見	ホテルニューオータニ (東 京)
4	4月10日(火)	東 京	都庁訪問、視察	ホテルニューオータニ (東 京)
5	4月11日(水)	神 奈 川	9:04 東京発 (バス)、県内視察、 神奈川県庁、箱根へ	ホ テ ル 小 涌 園 (箱 根)
6	4月12日(木)	神奈川・京都	13:58 小田原発 (新幹線) 17:12 京都着	京都グランドホテル (京 都)
7	4月13日(金)	京 都	終日京都府滞在	京都グランドホテル (京 都)
8	4月14日(土)	兵 庫	8:25 京都発 (バス)、兵庫県庁へ	神戸ポートピアホテル (兵 庫)
9	4月15日(日)	兵 庫	終日兵庫県滞在	グリーンピア三木 (兵 庫)
10	4月16日(月)	兵庫・熊本	14:13 大阪発 (全日空、525 便) 15:15 熊本着	ニュースカイホテル (熊 本)
11	4月17日(火)	熊 本	終日熊本県滞在	ニュースカイホテル (熊 本)
12	4月18日(水)	熊本・長崎	9:03 熊本発 (バス) →三角→島原 →長崎へ	長 崎 東 急 ホ テ ル (長 崎)
13	4月19日(木)	長 崎	終日長崎県滞在	長 崎 東 急 ホ テ ル (長 崎)
14	4月20日(金)	長 崎	11:55 長崎発 (全日空、164 便) 13:00 14:35 (CA 922 便)	

(2) 日 別

4月7日(土)第1日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
14:35	新東京国際空港 (成田着)	中国民航 927便	特別待合室(北8、9号室) 出迎え(15:20~15:50) 出迎者:石見全国知事会事務総長 仁科次長 宋金銘中国大使館一等書記官ほか (なお、清水渉外部長は以下全行程同行)
15:55	同 上 発	バ ス	
17:26	ホテルニューオータニ着		事務打合せ
18:10	同 上 発	乗 用 車	
18:25	銀座スエヒロ着		観迎夕食(18:30~19:55) 同席者:石見事務総長 吉本、仁科両次長ほか
20:00		乗 用 車	
20:15	ホテルニューオータニ着		[ホテルニューオータニ泊]

4月8日(日)第2日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:27	ホテルニューオータニ発	徒 歩	
9:46	赤坂見附見	営団地下鉄 (銀座線)	
10:11	浅草着		徒歩にて 浅草仲見世、浅草寺
11:15	「江戸ッ子」着		昼食(江戸ッ子) (11:40~12:50)
13:05	同上発	バ ス	
13:40	新木場ヘリポート着		東京消防庁航空隊ヘリコプター(2機)による空からの東京視察(飛行時間 14:12~14:42) (案内・説明:航空隊長 高橋亘氏)
15:10	同上発	バ ス	
15:42	浅草吾妻橋着		
16:00	同上発	水上バス (東京都観光汽船)	隅田川を南下
16:35	竹芝着		
16:40	同上発	バ ス	
17:20	中国大使館着		文遅臨時代理大使会見、夕食 (代表団のみ)
20:00	同上発	バ ス	
20:30	ホテルニューオータニ着		

[ホテルニューオータニ泊]

4月9日(月)第3日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:50 10:00	ホテルニューオータニ発 都道府県会館着	バス	地方制度概況説明 (石見全国知事会事務総長) (10:05~11:12 知事室)
11:16 11:23	同上発 自治省着	バス	田川誠一自治大臣会見 (11:30~11:56 大臣室)
11:59 12:02 12:05	同上発 日比谷公園着 松本楼着	バス 徒歩	昼食(松本楼) (12:15~13:46) 同席者: 石見知事会事務総長ほか
13:51 13:59	日比谷公園発 国会議事堂着 (衆議院)	バス	勝間田清一衆議院副議長会見 (14:05~14:25 議長応接室) 同席者: 渉外部副部長 桑形昭正氏 木村睦男参議院議長会見 (14:30~14:54 議長応接室) 同席者: 参議院副議長 阿具根 登氏 事務総長 指宿清秀氏 参議院本会議場参観
15:02 15:10	同上発 都道府県会館着	バス	記者会見(15:18~15:47、311号室)
15:50 15:57	同上発 国会議事堂着 (参議院)	バス	藤波孝生内閣官房長官会見 (16:12~16:30 院内大臣室) 同席者: 外務省中国課長 浅井基文氏 外務省中国課 根岸和時氏(通訳)
16:34	同上発	バス	

(東京 都)

発着時刻	発着地	交通機関	行事
16:46	ホテルニューオータニ着		全国知事会会長主催晩餐会 (18:06~19:50 楓の間) 主な出席者： 鈴木会長（東京）、中西副会長（石川）、 竹内（茨城）、西尾（鳥取）、竹下（広島）、 奥田（福岡）、細川（熊本）各知事、 丸山（秋田）、小寺（群馬）、関根（埼玉）、 長島（富山）、西口（和歌山）、小笠原 （兵庫）、中野（千葉）各副知事、石見知 事会事総長 田川自治大臣、伊藤自治政務次官、大林自 治省行政局長、砂子田消防庁長官、坂消防 庁次長、花岡自治大学校長 文遅臨時代理大使、宋金銘、葉啓瀟各一等 書記官 〔ホテルニューオータニ泊〕

(注) 9日の表敬訪問に際しては、中国大使館から丁民公使及び宋金銘一等書記官、全国知事会から石見事務総長が同席した。

4月10日(火)第4日

(東京都)

発着時刻	発着地	交通機関	行事
9:35	ホテルニューオータニ発	バス	鈴木俊一東京都知事会見 (同席者：外務長 川崎晴朗氏 国際交流部長 工藤昭和氏ほか)
9:55	東京都庁(玄関)着		
10:00	”(庁議室)		
10:20	”(”)		都・長期計画説明 (説明者：企画報道室次長 大坪哲夫氏 同室計画部長 岡下昌浩氏)
11:40	東京都庁発	バス	都知事主催昼食会 主な出席者：鈴木知事、副知事、横田政治氏 副知事 貫洞哲夫氏 企画報道室次長 大坪哲夫氏 国際交流部長 工藤昭和氏
12:10	東京都迎賓館(白金台)着		
14:15	同上発	バス	職業訓練校参観 案内説明：校長 西嶋昭氏ほか
14:50	都立中野高等職業訓練校着		
16:10	同上発	バス	ショッピング
16:30	ビック通商(株)[渋谷]着		
17:10	同上発	バス	中国省長訪日代表団主催 答礼宴 (18:40~20:06) 主な出席者：鈴木全国知事会会長 石見 同 事務総長 吉本、仁科両次長 宋金銘一等書記官 市川衛門前駐中国公使 中田慶雄国貿促常務理事 工藤昭和東京都国際交流部長 八浪熊本県東京事務所長 吉次長崎県東京事務所長ほか
17:50	天一坊[池袋]着		
20:22	同上発		
20:45	ホテルニューオータニ着		[ホテルニューオータニ泊]

4月11日(水) 第5日

(東京都・神奈川県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:04 9:50	ホテルニューオータニ発 (株)東芝・東芝科学館 (川崎市)着	バス	神奈川県秘書室長山下長兵衛氏出迎え 東芝科学館参観 あいさつ:常務 三好浩介氏 説明:館長 佐藤 繁氏
11:14 11:55	同上 発 日本鋼管(株) 京浜製鉄所(川崎市)着	バス	昼食、記念撮影(11:55~12:52) 同席者:所長 鈴木驍一氏 県渉外部長 山口栄蔵氏 休憩(12:52~13:10) 製鉄所参観(13:10~15:25) 説明・案内:鈴木所長ほか
15:30 16:00	同上 発 神奈川県庁着	バス	長洲一二 神奈川県知事会見(第3応接室) 同席者:副知事 八木敏行氏 理事 久保孝雄氏 渉外部長 山口栄蔵氏ほか
16:50 17:00	同上 発 華正楼(横浜市)着		神奈川県知事主催晚餐会 (17:10~19:10) 主な出席者:長洲知事、八木副知事、 久保理事 県議会議長 田島信雄氏 同 副議長 幸山義雄氏 日中友好神奈川県議会 議員連盟会長 三谷光雄氏 市長会会長(小田原市長) 中井一郎氏 読売新聞横浜支局長 伊藤貞良氏 横浜華僑総会会長 馬偉鴻氏 県商工会議所連合会会頭 上野 豊氏 県医師会会長 清川謹三氏 県日中友好協会会長 桶本正夫氏ほか
19:20 21:00	同上 発 ホテル小涌園(箱根町)着	バス	[ホテル小涌園泊]

4月12日(木)第6日

(神奈川県・京都府)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	ホテル小涌園 発	バス	案内者：伊豆箱根鉄道(株) 鉄道部運輸二課長 長沢龍助氏 駒ヶ岳区長 神谷 孝氏ほか
9:12	駒ヶ岳 登り口 着	ケーブルカー	
9:20	同 上 発		
9:26	駒ヶ岳 頂上 着	ロープウェイ	箱根園水族館見学(10:15~10:30) 案内・説明者：支配人 佐藤英則氏 休憩(10:35~10:55)
10:00	同 上 発		
10:10	箱根園 着		
11:00	同 上 発	バス	昼食(11:50~12:50) 主な同席者：秘書室長 山下長兵衛氏
11:26	ホテル小涌園(箱根) 着		
12:55	同 上 発	バス	山下秘書室長ら見送り
13:25	小田原 駅 着	新幹線 (こだま251号)	
13:58	同 上 発		
17:12	京都 駅 着	バス	京都府企画調整室長 山口周三氏ら出迎え
17:15	同 上 発		
17:20	京都グランドホテル 着		
			林田悠紀夫京都府知事主催晚餐会 (2階サロン・ド・シャルム)(18:30~20:30) 主な出席者：林田知事、副知事、荒巻禎一氏 副知事 植田穂積氏 出納長 片山健三氏 企画管理部長 吉岡 勉氏 知事公室長 安井 茂氏 京都市長 今川正彦氏 舞鶴市長 町井正登氏 長岡京市長 五十棲辰男氏 京都商工会議所会頭 塚本幸一氏 府議会議長 高山 寛氏 府議会各派代表(自民・公明・ 社会等) 府日中友好協会会長 依田義賢氏 国貿促京都総局会長 吉村孫三郎氏 在大阪中国総領事館領事郭轟氏 同 鄭国仕氏 [京都グランドホテル泊]

4月13日(金)第7日

(京 都 府)

発着時刻	発 着 地	交通機関	行 事
9:15	京都グランドホテル発	バ ス	吉岡企画管理部長らバスに同乗
9:35	平 安 神 宮 着		平安神宮表敬 案内：権禰 ^{ごんねぎ} 宜鞍貫忠雄氏
9:59	同 上 発	バ ス	
10:20	西 陣 織 会 館 着		西陣織会館参観(着物ショウ) 案内・説明：専務理事 沖口 優氏
10:05	同 上 発	バ ス	
11:38	嵐 山 着		亀山公園「周恩来総理記念詩碑」参観 説明：日本国際貿易促進協会京都総局 専務理事 村瀬武士氏 昼食「嵐亭」 同席者：村瀬国貿促京都総局専務理事 吉岡企画管理部長ほか
13:00	同 上 発	バ ス	
13:30	京 都 府 庁 着		荒卷禎一京都府副知事会見(知事室) 同席者：吉岡企画管理部長ほか
14:00	同 上 発	バ ス	
14:05	平 安 会 館 着		府政概要説明 吉岡企画管理部長 企画調整室参事 太田至郎氏
16:08	同 上 発	バ ス	
16:35	三 十 三 間 堂 着		三十三間堂参観 案内・説明：妙法院門跡 事務長 多紀頼信氏
17:03	同 上 発	バ ス	
17:15	京都グランドホテル着		自由夕食(洋食)(14階 トップオブキョウト) (18:30~) [京都グランドホテル泊]

4月14日(土)第8日

(兵庫県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:25 10:05	京都グランドホテル発 兵庫県庁着	バス	吉岡企画管理部長ら見送り 坂井時忠兵庫県知事会見(知事副室) (10:10~10:40) 主な同席者:小笠原副知事、貝原副知事、 三木出納長、三露技監、 四海企画部長
10:45 11:50	同上発 宝塚ホテル(宝塚市)着	バス	昼食(洋食) (11:50~12:50) 同席者:宝塚市長 友金信雄氏 県企画部長 四海好吉氏 阪神県民局長 大戸幸吉氏 ほか
12:59 13:05	同上発 宝塚劇場着	バス	宝塚歌劇団「風と共に去りぬ」観劇 (13:10~14:00) 友金宝塚市長、四海県企画部長、大戸阪神県 民局長 ほか
14:29 15:35	同上発 ポートライナー三宮駅着	バス	
15:42 16:05	同上発 ポートライナー 中公園駅着	ポートライナー	ポートアイランド、港湾施設、 新交通システムの説明 (16:10~17:00) 説明者:神戸新交通(株)常務取締役 阿久津成一郎氏 神戸市開発局臨海事務所長 金沢 寛氏
17:06	ポートアイランドビル発	バス	

発着時刻	発着地	交通機関	行事
17:15	神戸ポートピアホテル着		<p>兵庫県知事主催晩餐会 「菊水の間」(中華料理) (18:10~20:00)</p> <p>主な出席者: 坂井知事、小笠原副知事、 三木出納長、 三露技監、四海企画部長 県議長 伊藤国衛氏 県副議長 井元文治氏 神戸市秘書広報部長 中川圭司氏 神戸商工会議所常務理事 藤井繁太氏 中国領事 郭蠡・鄭国仕両氏 神戸国貿促副会長理事長 難波還氏 神戸華僑総会長 李萬元氏 兵庫県日中友好協会理事長 小沢 進氏 日中協会兵庫県支部代表 津田 元氏 ほか</p> <p>[神戸ポートピアホテル泊]</p>

4月15日(日)第9日

(兵庫県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	神戸ポートピアホテル発	バス	移情閣(孫中山記念館)参観 (9:40~10:00) 説明:兵庫県神戸土木事務所副所長 西村 勇氏
9:40	移情閣(神戸市)着		
10:00	同上発	バス	県立歴史博物館参観 (11:30~12:08) 案内・説明:次長 武市華久美氏 学芸員 堀田浩之氏
11:27	兵庫県立 歴史博物館(姫路市)着		
12:10	同上発	バス	昼食(和食)(12:33~13:19) 主な同席者:企画部長 四海好吉氏 姫路市市長公室長 有賀 顕氏
12:30	レストラン 清交クラブ (姫路商工会議所内)着		
13:24	同上発	バス	ショッピング 案内・説明:店長:鷹谷正勝氏
14:01	スーパーマーケット 「ジャスコ」加西店着		
14:37	同上発	バス	フラワーセンター参観 (14:45~16:00) 説明・案内:兵庫県フラワーセンター協会 理事長 大谷 薫氏
14:44	兵庫県フラワーセンター (加西市)着		
16:09	同上発	バス	グリーンピア三木区域内をバスで周遊ののち 17:45 ホテル着 夕食(18:37~20:26) 主な同席者:出納長 三木真一氏 三木市長 大原義治氏 東播磨県民局長 森田和美氏 県企画部長 四海好吉氏 〔グリーンピア三木泊〕
17:24	大規模年金保養基地グリー ンピア三木(三木市)着		

4月16日(月)第10日

(兵庫県・熊本県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
8:32 9:36	グリーンピア三木発 (株)神戸製鋼所 加古川製鉄所着	バス	(株)神戸製鋼所加古川製鉄所参観(熱延工場) (9:36~10:30) あいさつ:加古川製鉄所長 水内 通氏 説明:同 総務課長 谷村正弘氏 神戸総務部長付課長 長谷川康雄氏
10:31 11:52	同上発 天ぷら割烹 お可川本店(神戸市)着	バス	昼食(12:00~12:37) 主な同席者:小笠原副知事 四海企画部長 ほか
12:40 13:23	同上発 大阪国際空港着	バス	全日空特別室で小憩 (13:27~13:56)
14:13	同上発	全日空 525便	四海企画部長ら見送り
15:15 15:26 16:02	熊本空港着 同上発 熊本県庁着	バス	熊本県副知事 藤本伸哉氏ほか出迎え 細用護熙 熊本県知事会見(知事応接室) (16:05~16:40) 主な同席者:副知事 藤本伸哉氏 出納長 山内 新氏 教育長 外村次郎氏 総務部長 原田富夫氏 農政部長 伴 正善氏 ほか
16:34 17:02	同上発 ニュースカイホテル着	バス	熊本県知事主催晩餐会(3階「玉樹の間」) (18:07~19:55) 主な出席者:細川知事 藤本副知事 山内出納長

発着時刻	発着地	交通機関	行事
			原田総務部長 伴農政部長 県教育委員長 本田不二郎氏 外村県教育長 県議会総務委員長 馬場三則氏 日中友好熊本県議会議員連盟 会長 小谷久爾夫氏 熊本市長 星子敏雄氏 熊本市議会議長 宮原光男氏 熊本県町村会副会長 秋岡隆徳氏 熊本県日中交流協会副理事長 右田道夫氏 日中友好協会県本部会長 鶴野六郎氏 熊本華僑総会会長 葉 菊華氏 熊本大学学長 松山公一氏 熊本女子大学学長 岡村一郎氏 熊本商科大学学長 北古賀勝幸氏 熊本工業大学学長 中山義崇氏 NHK 熊本放送局長 中村建一氏 熊本県民テレビ社長 竹下一記氏 熊本商工会議所会頭 田副敏郎氏 県中小企業団体中央会会長 上妻 進氏 県農業協同組合中央会会長 末原勝実氏 県信用農業協同組合連合会 会長 吉水 淳氏 県酪農業協同組合連合会 会長 中原利丸氏 県地域婦人連絡協議会 会長 水上ムス氏 県青年国際交流団体協議会 会長 牛島誠二氏 ほか [ニュースカイホテル泊]

4月17日(火)第11日

(熊本県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	ニュースカイホテル発	バス	(森広報外事課長ら同乗)
10:37	阿蘇山上広場着	ロープウェイ	阿蘇火口参観(10:37~11:19)
11:19	同上発	バス	
11:23	阿蘇火山博物館着		阿蘇火山博物館参観(11:25~12:05) あいさつ:総務部長 市原典太氏 説明:学術員 井上敏男氏
12:06	同上発	バス	
12:36	ホテル角萬(阿蘇町)着		昼食「草千里」 (12:44~13:22)
13:38	同上発	バス	
13:44	農家住宅着		農家住宅参観(阿蘇町 竹本健一氏宅) (13:45~14:15)
14:16	同上発	バス	
14:40	畜産高等研修所着		県立農業大学校附属畜産高等研修所、県畜産 試験場阿蘇支場及び県阿蘇地区公共育成牧場 参観(14:40~15:44) 説明・案内:農大研修所長心得、畜産試験場 阿蘇支場長 大滝典雄氏
15:44	同上発	バス	
16:30	朝日畜産(ベルクミート) 工場(菊池市)着		ハム・ソーセージ工場参観(16:30~17:20) あいさつ:朝日畜産常務取締役 元村晴輝氏 説明・案内:同総括部長 森 光臣氏
17:20	同上発	バス	
18:20	ニュースカイホテル着		夕食 6階「翠松」(和食) (19:02~20:55) 主な同席者:田代総務部次長、森広報外事課長 [ニュースカイホテル泊]

(注) 農家住宅見学は、4月13日計画変更したものである。当日、見学時間を延長したため、畜産高等研修所の見学時間を20分短縮した。

4月18日(水)第12日

(熊本県・長崎県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:03	ニュースカイホテル発	バス	知事見送りあいさつ(ホテル「平安の間」) (8:44~8:58)
9:14	碩台小学校着		小学校参観(9:15~10:00) 案内・説明:校長 村上新興氏
10:02	同上発	バス	
10:15	熊本城着		熊本城参観(10:15~10:40) 案内・説明:熊本市教育委員会文化課長 本藤広泰氏
10:40	同上発	バス	途中、果樹園(みかん)見学(車中から)
11:55	楠萃荘(三角町)着		昼食(12:00~13:00)
13:05	同上発	バス	
13:07	三角港着		
13:20	同上発	フェリー (九州商船)	(森・熊本県広報外事課長ら、ここまで見送り) 長崎県総務部長 山道幸雄氏ら出迎え
14:20	島原外港着		
14:30	同上発	バス	
15:10	雲仙(仁田峠)着		雲仙天草国立公園展望
15:24	同上発	バス	
17:15	長崎東急ホテル着		小憩
17:50	同上発	バス	
18:00	新和楼着		高田勇長崎県知事主催晩さん会(中華料理) (18:00~20:00) 主な出席者:高田知事、県副議長 住江正三氏 出納長 柴田芳男氏 総務部長 山道幸雄氏 教育長 伊藤昭六氏 農林部長 浜田久氏

発着時刻	発着地	交通機関	行事
20:10	同上発	バス	議会事務局長 松尾英三氏 長崎市助役 宮川雅一氏 佐世保市助役 野田 猛氏 長崎華僑総会会長 兪雲登氏
20:20	長崎東急ホテル着		[長崎東急ホテル泊]

(注) 知事見送り、小学校見学、果樹園見学は前日にスケジュール変更したもの。

(熊本城見学は大幅に短縮)

4月19日(木)第13日

(長崎県)

発着時刻	発着地	交通機関	行 事
9:00	長崎東急ホテル発	バス	
9:20	国際平和公園着		平和記念像への献花及び公園内視察
9:40	同上発	バス	
9:45	国際文化会館着		国際文化会館参観(9:45~10:35) 案内・説明:館長 松永照正氏
10:35	同上発	バス	
10:50	長崎県庁着		三村長年長崎県副知事会見 主な同席者:山道総務部長 大保 哲政策担当理事 田中 進総務部理事
12:00	同上発	バス	
12:05	康楽着		昼食(12:05~13:00) 同席者:田中総務部理事 兪雲登長崎華橋総会会長 ほか
13:00	同上発	バス	
13:30	三菱重工業(株)長崎造船所香焼工場着		造船所参観(13:30~14:45) 案内・説明:長崎造船所造船総括部主管 仁藤 弘氏
14:45	同上発	バス	
15:45	西山台団地県公舎着		勤労者住宅参観(15:45~16:05) (西山直人氏〔県保健予防課主査、35歳〕宅)
16:05	同上発	バス	
16:25	長崎原爆病院着		病院視察(16:25~17:05) 説明・案内:院長 藤田長利氏
17:05	同上発	バス	

発着時刻	発着地	交通機関	行事
17:20	長崎東急ホテル着		<p>長崎県・長崎県日中親善協議会主催歓迎宴 1階「つくも」の間 (18:00~20:00)</p> <p>主な出席者：三村副知事 山道総務部長 長崎県日中親善協議会 副会長 林田作之進氏 長崎市長 本島 等氏 長崎華僑総会会長 兪雲登氏 石見全国知事会事務総長 ほか</p> <p>[長崎東急ホテル泊]</p>

- (注) 1. 勤労者住宅、病院の視察は、要望に従って計画変更したものである。
2. 団長、秘書長、許金平の3氏は、午後別行動で久保前知事をお見舞した。

4月20日(金)第14日

(長 崎 県)

発着時刻	発 着 地	交通機関	行 事
9:00	長崎東急ホテル発	バ ス	高校参観 あいさつ：理事長、玉城亀保氏 説明・案内：校長 亀渕 実氏
9:45	長崎日本大学高校着		
10:45	同 上 発	バ ス	柴田出納長、山道総務部長ら見送り 全日空特別室にて休憩ののち、歓送 (13:10~14:00) 見送り者：石見知事会事務総長 四海兵庫県企画部長 ほか
11:15	長 崎 空 港 着		
11:55	同 上 発	全日空機 164便	
13:00	大 阪 国 際 空 港 着		
14:35	同 上 発	中国民航 922便	帰 国

付) 第二次中国省長訪日代表团 地方視察同行者

職 氏 名	同 行 区 間
全 国 知 事 会	
事 務 総 長 石 見 隆 三	長 崎 県
次 長 吉 本 準	神 奈 川 県
次 長 仁 科 久 夫	京 都 府 ・ 兵 庫 県
渉 外 部 長 清 水 隆 司	全 行 程
総務部副部長 石 場 雅 美	京 都 府 ・ 兵 庫 県
	熊 本 県 ・ 長 崎 県
渉外部副部長 柳 田 躬 嗣	兵 庫 県 ・ 熊 本 県
渉外部主事 小 野 哲 巳	神 奈 川 県 ・ 京 都 府
近畿日本ツーリスト株式会社	
海外旅行部 渉外部長 佐 藤 茂 信	全 行 程
同 虎の門海外旅行営業所 主任 榎 本 達 哉	全 行 程
中国・新華通社駐日記者 張 煥 利	全 行 程

3 全国知事会会長主催歓迎晩さん会

〔日時〕 昭和 59 年 4 月 9 日（月）

18：06～19：50

〔場所〕 東京・ホテルニューオータニ
「楓の間」

(1) 晩さん会次第

司会：吉本全国知事会事務局次長

- 1 開 会
- 2 会長歓迎あいさつ（鈴木全国知事会会長）
- 3 代表団団長あいさつ（布赫内蒙古自治区主席）
- 4 乾 杯（全国知事会副会長・中西石川県知事）
- 5 来賓代表あいさつ（田川自治大臣）
- 6 懇 談
（贈 物 交 換）
- 7 閉 会

(2) 晩さん会出席者（敬称略）

〔中国側〕

団長	内蒙古自治区主席	布 赫	河南省省長	何 竹 康
	江西省省長	趙 增 益	遼寧省副省長	王 光 中
	新疆ウイグル自治区副主席		国家經濟委員会外事局副局長	
		黃 宝 璋		劉 光 溥

中日友好協会副秘書長 金 蘇 城 中日友好協会事務局員 許 金 平

中日友好協会事務局員 王 雲 濤

(中国大使館)

臨時代理大使 文 遲 一等書記官 宋 金 銘

一等書記官 葉 啓 瀟

[日 本 側]

(自 治 省)

自 治 大 臣 田 川 誠 一 自 治 政 務 次 官 伊 藤 公 介

行 政 局 長 大 林 勝 臣 消 防 庁 長 官 砂 子 田 隆

消 防 庁 次 長 坂 弘 二 自 治 大 学 校 長 花 岡 圭 三

(知 事)

会 長 副 会 長

東 京 都 知 事 鈴 木 俊 一 石 川 県 知 事 中 西 陽 一

茨 城 県 知 事 竹 内 藤 男 鳥 取 県 知 事 西 尾 邑 次

広 島 県 知 事 竹 下 虎 之 助 福 岡 県 知 事 奥 田 八 二

熊 本 県 知 事 細 川 護 熙

(副 知 事)

秋 田 県 副 知 事 丸 山 完 群 馬 県 副 知 事 小 寺 弘 之

埼 玉 県 副 知 事 関 根 秋 夫 千 葉 県 副 知 事 中 野 晟

富 山 県 副 知 事 長 島 和 彦 和 歌 山 県 副 知 事 西 口 勇

兵 庫 県 副 知 事 小 笠 原 暁

(全 国 知 事 会 事 務 局)

事 務 総 長 石 見 隆 三 次 長 吉 本 準

次 長 仁 科 久 夫 調 査 第 一 部 長 神 川 愛 彦

調査第二部長 野 口 陽一郎 渉 外 部 長 清 水 隆 司

災害共済部長 宇田川 千 治

[そ の 他]

新華通信社駐日記者 張 煥 利

日本大学経済部学生（金蘇城氏令息） 金 京 一

[通 訳]

佐 藤 泰 子

依 光 瑞 子

田 中 美佐子（補助通訳）

井 上 富美子（ " ）

平 本 浩 巳（ " ）

吉 武 百 合（ " ）

陸 美 容（ " ）

(3) 鈴木全国知事会会長あいさつ

布赫団長をはじめ、第二次中国省長訪日代表团ご一行の皆様、遠路ようこそおいでくださいました。全国知事会を代表して、皆様を心から歓迎いたします。

また、本夕は、田川自治大臣、並びに文遅臨時代理大使のご列席を賜り、誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げたいと存じます。

全国知事会では、これまで 1974 年と 1980 年の 2 回、中国日本

友好協会のお招きにより貴国へ代表団を派遣し、皆様から熱烈な歓迎をいただきました。

また、貴国からは、1978年に万里先生を団長とする、第一次省長代表団が来日され、日中友好のために尽くされました。

そして、省・県レベルの友好関係と相互理解が、こうした努力によって着実に深まって参りましたことは、誠に嬉しいことでございます。

1972年に日中両国の国交が回復して以来、日中間の経済交流と人的交流は、年毎に盛んになり、1983年には、両国間の貿易額は、往復で100億ドルの大台に達し、72年に比べ、9倍に伸びております。また、人的交流は、1983年には、19万人弱と、72年に比べ、実に21倍にも増加しております。

また、貴国の省と、友好関係の盟約を結んでいるわが国の府県は、現在、15都府県に達しております。

私ども東京都におきましても、1979年に、中国の首都北京市と友好都市の提携を結び、毎年、積極的に友好交流事業をすすめているところでございます。

私は、日中の省・県間をはじめ各レベルでの友好交流が、今後、一層促進され、両国民の相互理解と友情が一段と深まりますよう、心から希望するものであります。

皆様方は、今月の20日まで、わが国にご滞在になられ、東京都をはじめ、神奈川、京都、兵庫、熊本、長崎の各府県を、友好訪問される予定となっておりますが、それぞれの都府県で、知事をはじめ多くの住民が皆様をお待ちしております。

わが国は、いままさに、春たけなわであります。

どうか皆様には、わが国の都府県の行政・産業の実情を、つぶさにご覧いただきますとともに、日本の美しい自然をも、心ゆくまで、お楽しみいただき、このたびのご旅行が、実り豊かなものとなりますよう、心から願っております。

簡単ではございますが、一言申し上げて、私の歓迎の挨拶といたします。

どうか、お時間の許します限りごゆっくりご歓談いただきたいと存じます。

ありがとうございました。

(4) 布赫団長のあいさつ

尊敬する鈴木俊一会長先生

尊敬する全国知事会の皆様

尊敬する友人の皆様

私共第二次中国省長訪日代表団は、日本全国知事会のお招きにあずかり、素晴らしい桜の季節に貴会へ友好訪問に参りました。今夕かくも盛大な晩さん会を催して下さい、ただ今は又、会長先生の暖かい友好的なごあいさつを頂き、私は第二次中国省長訪日代表団一同を代表して、厚くお礼申し上げます。

この度、私共は、昨年冬と今年春に胡耀邦総書記と中曽根康弘首相が相互訪問を行い、中日友好関係が新しい段階に進んでいる状況の下で貴国にお邪魔しました。中日関係が史上最良の時期にある素晴らしい情勢の

中で、私共中国の五つの省の責任者が貴国の都・府・県の知事の皆様と接触し、そして見学し、勉強する機会に恵まれたことは誠に幸いです。

中日友好協力関係が、平和友好、平等互惠、相互信頼、長期安定の四原則を踏まえて、各分野で新たな深さと広がりをもって発展していることは、喜ばしい限りです。このようなすばらしい情勢を迎えて、私たち両国の地方政府間の友好往来も一層頻繁かつ密接に行わなければならないと思います。

中日友好協会と日本全国知事会との間で友好交流のルートが作られて以来、貴会は二回にわたって知事訪中代表団を派遣し、また、1978年に万里副総理が、安徽省省長在任中に、第一次中国省長訪日代表団を率いて貴国を訪問しました。私たちと貴知事会との間の友好関係は絶えず発展しております。現在、我が国の15の省・市・自治区と貴国の15の都・府・県が友好省県関係を結び、ほかに46組の都市が友好都市関係を提携しました。私たち両国地方政府間のこのような友好協力関係の確立と絶え間ない発展は、中日両国善隣友好関係に新たな内容を添えるものであり、ますます重要な役割を果たしております。私はこの機会をお借りして、貴い貢献をされた貴会並びに日本都道府県、地方自治体の友人の皆様に崇高な敬意を表する次第です。

我が国は今四つの現代化建設に取り組んでおります。私たちの沿海の14の大都市において、既に開放的な政策が実行されることになりました。そして、今世紀の末か21世紀の初期に至れば、我が国の西北と西南地区が重点開発地域として建設が進められることになっております。

経済協力の面において、中日両国は天の時、地の利、人の和の有利な条件を有し、又それぞれに長所があり、協力しあっていく上で、大きな潜在

力を持っております。私たちは、貴国の地方自治体と経済界の方々が私たちの各省と様々な方式の経済協力を行い、有無を相通じ、相手の長所を取り入れて、自分の短所を補っていくことを歓迎します。これは、私たち両国の地方の経済・文化の繁栄と隆盛にとって有利だけでなく、更に両国人民の子孫の幸せにつながるものと考えます。

私たちは、この度の得難い機会を十分に利用して、工・農業を発展させた貴国の先進的な経験を学んで、私たちの仕事の参考にしたいと思います。

ここで私は、日本全国知事会が来年の都合の良い時に知事代表団を我が国に派遣されますよう、中日友好協会に代わって正式に御招請申し上げたいと思います。それによって、私たちと貴会並びに知事の同僚の皆さんとの友好往来と協力が引き続き強まり、中日両国人民の子々孫々に至る友好のために、アジア及び世界の平和の擁護のために、絶えず新たな貢献が出来ますよう期待しております。

中日友好がいつまでも咲き誇る桜のように美しく、滔々と流れる長江の水のように末広がるよう心から祈念いたしまして、お礼のあいさつに代えさせていただきます。

それでは、貴国の繁栄と隆盛並びに人民の幸福のために、貴会の絶え間ない御発展のために、我々両国地方政府間の友好協力関係の発展のために、鈴木俊一会長先生の御健康のために、御在席の友人の皆様の御健康のために、お祈り申し上げます。

4 地方制度概況説明 (要旨)

説明者：全国知事会 事務総長

石 見 隆 三

(4月9日 全国知事会知事室)

同席者：吉本次長、仁科次長、神川調査一
部長、野口調査二部長、清水渉外
部長、張・新華社記者、佐藤泰子
通訳

1 都道府県と市町村

(1) 二階層制

日本の地方制度は、都道府県と市町村の二階層制をとっている。都道府県は市町村を包括する広域団体である。

(2) 都、道、府、県

都道府県の内訳は、1都（東京）、1道（北海道）、2府（京都、大阪）、43県である。

このうち、東京都については、府県の権能と市町村の権能の一部を併せ持つ特別の権能が与えられているが、その他の道府県については名称が異なるのみで、制度上の権能は同一である（資料1、P.1以下参照）。

(3) 市町村、特別区

ア 市町村、特別区は、住民に最も身近な地方公共団体である。現在、649市、2,606町村、23特別区がある（資料1、P.20 第2表参照）。

イ 市、町、村の名称の区分は、人口、都市的形態等の差異に基づくもので、原則として、権能上、本質的な差異はない。

ウ 中国の「直轄市」(北京、上海、天津)のような省と同一レベルの市の制度は、日本では採用されていない。

日本の大都市については「指定都市」の制度があり、保健衛生、教育等の事務について、一般の市町村より大きな権能が認められている。

指定都市は全国で 10 市あり、今回の訪問地では、横浜、川崎、京都、神戸の 4 市がこれに当たる。

エ 特別区は、東京都の 23 区(千代田区等)がこれに当たり、市よりもその権能はやや狭い(その狭くなった部分は東京都の権能である。資料 1、P.8 以下参照)。

2 地方公共団体の機関

地方公共団体には、それぞれ議会と執行機関がある。議会の議員と地方公共団体の首長(都道府県知事、市町村長)は、いずれも、住民の直接選挙によって選ばれる。また、任期は、いずれも 4 年である(資料 1、P. 8 以下参照)。

3 地 方 財 政

(1) 地方公共団体の収入

地方公共団体の収入には、地方税、地方交付税、地方債、国庫支出金などがある。

1984 年度の地方財政計画では、歳入総額 48 兆 2,892 億円、うち地方税 42.2%、地方交付税 17.6%、国庫支出金 21.3%、地方債 9.9%となっている。

(2) 地方公共団体の支出

地方公共団体は、教育、土木、民生、農林水産等各般にわたる行政を

行っている。

1984年度の地方財政計画では、歳出総額は48兆2,892億円であり、そのうち投資的経費は、35.6%を占めている。

(3) 地方財政制度については、資料1、P.12以下参照。

4 組織・機構 (調査事項)

都道府県の組織、機構については、地方自治法に局部の設置基準等を定めているが、各都道府県が独自の対応をしている。その例として、資料2に神奈川県が掲げている。

神奈川県は、人口約700万人で、組織、機構としては比較的大きいものの例であるが、知事部局のほかに、教育委員会、公安委員会等の委員会や公営企業関係部門（企業庁）があることは、他の府県においても異ならない。

5 職員の採用 (調査事項)

(1) 職員の採用は、原則として、競争試験によるものとされている（地方公務員法）。

(2) 職員の採用の条件については、各都道府県で独自の基準を定めているが、資料3に長崎県の例を掲げた。

(警察官、教員については、さらに特別の要件がある。)

6 地域開発、産業振興関係 (視察希望事項)

(1) 地域開発、産業振興関係の視察希望事項については、可能な限り、現地視察を組み入れるよう関係都道府県と調整を図った。

(2) 京浜工業地帯、阪神工業地帯、中京工業地帯、北九州工業地帯は、古

くから発展した日本の四大工業地帯である。訪問地の東京、神奈川、兵庫は、その中核をなす地域である（中京工業地帯は、新幹線で通過する名古屋周辺である。）。

- (3) 日本では、1960年代に、新しい工業地帯を開発するため、国・地方が一体となって、産業基盤整備、企業誘致等を重点的に行った（視察地の姫路、高砂、加古川地区は、工業整備特別地域として整備されたものである。）。

これによって、経済発展の基礎が築かれ、この頃から、日本の工業力、経済力は急速に発展した。しかし反面、環境破壊や公害問題、都市の巨大化、農村部における過疎の進行等の新しい課題が生じてきた。

- (4) 最近では、電子工業を中心とした知識集約型の先端産業の導入に重点を置く府県も少なくない。訪問地の熊本県もその例である。

- (5) 農業については、1960年代の経済の高度成長期に、他産業との生産性の格差が問題になり、農業の近代化に関する施策が推進された。現在でも、農家の兼業化（Ⅰ兼 21.5%、Ⅱ兼 65.1%）、経営規模の零細性等が問題になっている。

（参考までに、当知事会の研究報告書を同封した。）

地 方 制 度 概 況 説 明

配 付 資 料 リ ス ト

昭 和 59 年 4 月 9 日

全 国 知 事 会

(ページ数)

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 地方制度的概況（中国語） | 22 ページ |
| 2. 都道府県の組織機構 | |
| (例) 神奈川県 | 3 ページ |
| 3. 地方公務員の採用の条件 | |
| (例) 長崎県 | 6 ページ |
| 4. 全国知事会編 | |
| 「戦後において府県の果たしてきた役割と
今後の課題」(農政編) | 219 ページ |
| 5. 外務省編「日本概況」(中国語) | 141 ページ |
| 6. 日本全図(武揚堂) | (B2 版) |
| 7. やさしい消防のはなし(自治総合センター) | 101 ページ |

5 記者会見概要

4月9日 15:18～15:47

都道府県会館 別館 311号室

1. 団長挨拶一布赫内蒙古自治区主席

今回、中国省長代表団は、全国知事会のお招きにより訪日しました。訪日代表団は9人で構成し、このうち、5つの省長ならびに副省長が加わっています。すなわち、①河南省 ②江西省 ③遼寧省 ④新疆ウイグル自治区 ⑤内蒙古自治区の5つです。そのほか、国家経済委員会及び中日友好協会の責任者達です。私達は訪日以来3日目になりますが、全国知事会で決めた日程、暖かい準備に感謝しています。

本日は、これまでに石見事務総長からの地方制度概況の説明や自治大臣、衆・参正副議長への表敬訪問、会見など大変感謝しており、3日間の収穫は大きく、いい勉強になりました。この機会に皆様方の暖かい歓迎に対し、感謝の意を表します。

また、本日の記者会見に出席された報道関係者の方々に対し、心から感謝の意を表します。

今回の中国省長代表団は、二つの任務を担って来ました。一つは、中国の省と日本の県との間の経済・文化の交流を図り、相互理解を一層深めること。もう一つは、日本の進んでいる工業・経済・科学技術などを勉強することです。

中日両国は親しい隣国であり、とくに国交正常化以来経済・文化の交流

が活発化し、去年わが国の胡耀邦総書記が訪日したり、また今年中曽根総理大臣が訪中したりして、中日両国間の友好や経済・文化の交流は新しい段階に入りました。事実が証明するように、中日両国はこれからももっと友好を深め、経済・文化の交流をもっと発展させることができると確信しております。

今回の訪日が実り多いものになることを確信しています。この場を借りて、全国知事会の皆様や記者の方々に敬意を表します。ありがとうございました。

2. 質 疑 応 答

(1) 記者クラブ代表質問—久保田共同通信記者（幹事）

只今の布赫団長さんのご丁寧な挨拶をありがとうございました。只今の説明により皆様方の来日の目的もよく判りました。

私ども報道関係者としても、皆様の訪日を心から歓迎します。

最近、政府レベル、民間レベルを問わず、日中交流がさかんになっています。胡耀邦総書記の訪日の際に、3,000人の日本青年のご招待の申し出がありまして、この秋に訪中することは、すでにご了知のことと思います。

こうした国、県、市町村レベルでの訪中に対して、どのように受けとめておられますか。

(2) 団 長

このことは、すでに中国全体が知っています。中国の青年組織—中国共産主義青年団が目下日本青年の受入れの準備をしています。中日両国人民が、長く、代々に至るまで友好的につき合っていくべきでありま

す。政府・民間等による青年の相互訪問は、両国間の友好、経済・文化の交流によい役割を果たしていると考えます。今回の訪日に参加している五つの省は、内地にあるものもあれば、へんぴな地にあるものもあります。日本青年の皆様が、北京のほか、へんぴな所にも是非来られることを心からお待ちしています。

(3) 久保田記者

もう2年程前になりますが、中国の地方行政の仕組みが変わったと聞いています。私どももよく理解していません。特に大きく変わった点がどこにあるのか、お聞かせ下さい。

また、午前中に石見事務総長から日本の地方制度についての説明があったと思いますが、何か日本の制度で参考になることがあれば、あわせてお聞かせ下さい。

(4) 団 長

機構改革については、中央政府は1982年に行い、去年は主に地方の省の改革を行いました。改革のやり方は機構の簡素化です。また経済の発展—いろいろな建設を促すため、指導者の知識化や若返りを図りました。さらに、機構の簡素化により3分の1の人を減らしました。指導者の知識化も非常な進歩を見せております。

わが国の党や政府の指導者は、これまで長い間仕事をしてきたので、年老いています。1982年からの改革により、各クラスの指導幹部が老中青に結合し、指導部を構成しています。今は交代期にあり、新旧の幹部とか、年老いた幹部、若い幹部が互いに協力して指導しています。第一線をしりぞいている古い幹部も生活の上でよい待遇を受けています。私の知る所では、機構改革前はかなり平均年齢が高かったが、改革後は

平均年齢がずいぶん下がっています。

(5) 久保田記者

予定の時間がききましたので、以上で会見を終ります。

有意義なお話をありがとうございました。

最後に、11日からは東京を離れて、地方を視察する予定になっていますが、どうかお元気で、実り多い旅行を続けられるようお祈り申し上げます。

3. 記者会見出席者

第二次中国省長訪日代表団 全員（9名）

記 者 側

久保田（共同）、上松（共同）、鳥毛（中日）、平田（毎日）、
佐竹（毎日）、中野（朝日）、青柳（時事）、石田（NHK）、
岩井（NHK）
張煥利（新華社）

全国知事会

石見事務総長、吉本次長、仁科次長
（日本側通訳 佐藤泰子）

6 政府要人との会見要旨

(1) 田川誠一自治大臣との会見

(4月9日(月) 11:23～11:56 自治省大臣室)

同席者：丁 民 在 日 中 国 公 使
石見隆三全国知事会事務総長

金蘇城秘書長が団員を紹介したのち、布赫団長から田川大臣に対し、多忙な中を会見して下さったことに謝意が表された。

田川大臣 気候がよい時期に来てくれました。金蘇城さんとは二十五・六年のつきあいです。

布赫団長 われわれは9人のメンバーからなる代表団で、省長・副省長が5人、国家経済委員会の劉さん、それに中日友好協会から3人参加しております。

石見総長 今朝、全国知事会で1時間ほど自治制度について説明いたしました。

田川大臣 お国と日本との制度はかなり違っています。御遠慮なく勉強していただくとともに、われわれにもいろいろ教えていただきたいと思えます。日本滞在中、日本の産業を見る計画になっていますか。

石見総長 職業訓練校とか畜産関係なども視察願うことになっております。

布赫団長 知事会が周到な日程を組んでくれています。

田川大臣 それでもお国の接待にはかなわないでしょう。

布赫団長 今回大変暖かく歓迎して下さい感謝しております。

田川大臣 知事会も、代表団を何度も中国へ派遣してお世話になっているので、誠意をつくして皆様を歓迎してくれるはずですよ。環境が変わっ

ても大丈夫ですか。日本へ来て病気にならないよう気をつけて下さい。
金蘇城氏が日本人以上に日本のことをよく知っておられるので、その
助言は参考になると思います。

布赫団長 今朝は石見先生から日本の地方制度についてくわしく説明して
いただきました。地方制度を知る上で大変いい勉強になりました。

今回の日本訪問の目的は二つあります。一つは中国がめざしている
四つの現代化の達成のため必要な知識・経験を学ぶことです。もう一
つは、中日友好関係のいっそうの発展のため、とくに地方政府のレベ
ルでの両国の文化・経済の交流をさらに濃密なものにするため、訪日
いたしました。到着後 2～3 日の訪問を通して私たちは満足していま
す。今回の訪日が成功することと確信しています。

田川大臣 省長の皆さん、日本訪問は、はじめてですか。(団長ははじめて、
新疆ウイグル自治区の黄副主席もはじめて、遼寧省の王副省长は
2 回目で、前は東京で 72 時間いただけだった、等交々話す。)

金蘇城秘書長 今回訪日した省長のうち、新疆ウイグル自治区が一番面積
が大きく、人口では河南省が一番です。面積合計は 350 万平方キロ
で中国全土の 36% を占めます。人口の合計は 1 億 7,700 万になり
ます。

王・遼寧省副省长 昨日の日曜日はヘリコプターに乗って東京全体を見る
ことができました。

田川大臣 事務総長はもと自治省の幹部でした。日程では箱根に来られる
ようですが、私は箱根のある神奈川県出身です。

王副総長 神奈川県と私の遼寧省とは友好省県で、いわば親戚同士です。

田川大臣 友好省県は最近ずい分行われているようですね。今 11 組でし

たか。

石見総長 今全部で 15 あります。そのほか、かなりの市がやっています。

布赫団長 経済文化の交流がさかんになると、友好都市ももっと多くなる
と思います。

王・遼寧省副省長 友好関係が深まるにつれ、科学、技術、経済の交流も
さかんになることが期待されます。すでに 12 の都市が開放されまし
た。

田川大臣 遼寧省の海底石油の開発はどうなっていますか。

王・遼寧省副省長 順調に進んでいます。渤海湾の海底に石油が豊富にあ
ります。

黄・新疆ウイグル自治区副主席 内蒙古と新疆とは中国で自治区と称して
いますが、日本の県や市と友好省県・都市を結びたいと思っています。
二つの自治区は資源は豊富で、これから本格的に開発する計画を持っ
ています。

田川大臣 お国の制度にも良い点がありますが、日本の制度や民間のもの
にも参考にできる点があります。地方制度でも勉強になる点があると
思いますので、積極的に学びとって下さい。

布赫団長 中国の古い友人である田川先生は 20 回近く中国へ行かれたそ
うですが、内蒙古や西北はもう行かれたか。

黄・副主席 新疆はシルクロードのあったところですよ。ぜひ新疆にきて下
さい。

田川大臣 昆明までは行きました。交渉が多かったので、あまり地方へは
行っていません。

布赫団長 今度はぜひ中国西北部、内蒙古や新疆にきて下さい。内蒙古、

新疆は開発を待っている所です。地下資源が豊富です。

(ここで、中国側から江西省の景德鎮の磁器が贈物として渡された。

大臣から謝辞が述べられる。)

布赫団長 景德鎮の焼物は中国では有名で、1,000年の歴史を持っています。

田川大臣 皆さんお若いですね。最高64歳だそうで若い省長さんばかりですね。

金蘇城秘書長 最近大規模な機構改革が行われ、省長も相当若年化しました。

布赫団長 いま省長の平均年齢は55歳位です。内蒙古の幹部の平均年齢は52歳位です。

丁民公使 熊本と北海道の知事も若いです。新疆の主席は49歳です。

田川大臣 短い時間でしたがここで皆様とお会いできて嬉しく存じました。今日は国会の都合で少し遅れるかもしれませんがパーティーにはぜひ出たいと思っています。

(2) 勝間田清一衆議院副議長との会見

(4月9日(月) 14:03~14:25 衆議院議長応接室)

同席者：桑形昭正渉外部副部長、松永秘書

丁民在日中国公使

石見隆三全国知事会事務総長

勝間田副議長 今年の冬は例年になく寒かったです。昨今ようやく春らしくなって桜の花がちらほらしはじめました。

布赫団長 桜の花の咲く時期にきて嬉しく思います。

(ここで金蘇城秘書長が代表団のメンバーを紹介する。)

勝間田先生にはお忙しいところをお会いいただきありがとうございます。一昨日日本にきてから、ヘリコプターに乗って東京の全景を見ることができ、また石見全国知事会事務総長から日本の地方制度について学ぶことができ、大きな収穫を得ました。

第二次中国省長訪日代表団は、河南省、江西省、遼寧省、新疆ウイグル自治区、内蒙古自治区の省長、副省長からなっております。今回の訪日の目的は、中国人民と日本人民との友好を深めること、とくに省と県との友好と地方政府間の交流を強め、経済・文化の交流をおしすすめることであります。来日して3日目ですが、大変勉強させていただきました。関係各位に感謝しております。

本日は勝間田先生がお忙しい中を会見して下さり感謝申し上げます。

勝間田副議長 布赫団長をはじめ各団員の皆様、丁民公使、金蘇城先生、よくいらっしやいました。心から歓迎申し上げます。

私は、あの不幸な戦争が終わったのち、日中友好を1日も早く回復せねばならないという確信から、微力をつくしたのでありますが、丁民さんや金蘇城さんは常に親切に協力して下さいました。私は国慶節等の機会に社会党代表として6~7回貴国を訪問いたしました。あのころのことを思い出しながら、今日の日中関係の進展ぶりを思いますと、心から嬉しく思っております。1978年の日中平和友好条約の締結を契機として日中関係が日々発展していることは喜びにたえません。

私は周恩来先生、廖承志先生のことを忘れることはできません。かつて、日本と中国との関係は、将来、たとえば朝東京を出て北京で昼飯をたべて夜は東京に帰る、あるいは東京で昼飯をたべてその日のう

ちに北京に帰ってくるというような時代がやってくるだろうと言っておられましたが、いま、まさにそのとおりになりました。まことに喜ばしいことでもあります。

このたび知事会の招待で2回目の省長代表団訪日を実現したことは大変嬉しいことです。現在、日本と中国との間にはいかなる国家的矛盾も存在しません。歴史的にみても日中間の文化・経済の交流は密接なものがあり、私は今後の日中の友好関係の発展を確信しております。子々孫々までの友好は当然のことだと思います。われわれは、それを実現することがわれわれの任務だと考えております。

地方自治の経験の交流は大変大切なことです。日本では、地方自治は、成功した面もあるし、問題点もあります。とくに公害、交通問題などはなかなか解決できないでいます。どうか、日本で成功しているところも、困っている点も、よく見て参考にしてください。

両国の交流がさらにすすむことを祈ります。

布赫団長 ただいま、勝間田先生から誠意あるお言葉をいただき、ありがとうございます。中日友好のため尊い貢献をした周恩来、廖承志について言及されました。同時に、中日友好のためにつくされた日本の皆様の御努力も決して忘れることはできません。

本日は勝間田先生が会見して下さったことを大変嬉しく思います。勝間田清一先生に敬意を表するため、贈物を差し上げたい。これは唐三彩の馬であり、河南省の洛陽で作られたもので、河海省長が持ってきたものです。それに、今回の五つの省の概要を持って参りました。

この次はぜひ中国で、できれば内モンゴルでお会いしたいと思います。

(3) 木村睦男参議院議長との会見

(4月9日(月)14:29～14:54 参議院議長応接室)

同席者：阿具根 登参議院副議長

指宿清秀参議院事務総長

丁民在日中国公使

石見隆三全国知事会事務総長

(まず中日双方から出席者の紹介が行われた後、次のようなやりとりがあった。)

木村議長 このたびは皆様は知事会の招待で来日され、お帰りまで方々をごらんになることと存じます。実は私は昔遼寧省に住んでいたことがあり、中学校時代は遼寧省の大連にいました。皆さんにお会いして、たいへんなつかしく思います。

最近、中国と日本との関係が密接になり、交流がさかんになっていることを喜ばしく思います。昨年秋、中国から胡耀邦先生が来もれたとき、国会で力強い演説をされましたが、議員一同感銘を深くいたしました。またこの間には中曽根首相がお国を訪問して皆さんから暖かい歓迎をいただきました。いままた、このように中国各省の最高責任者が大勢来日され、首都だけでなく、日本各地を訪問され、各地で広汎に接触を深められるのはたいへん結構なことだと存じます。

この間中曽根総理も中国へ行って、日本と中国は永遠の友好親善を誓おうと言われましたが、これは、日本人全体の気持を総理が代表して中国の皆様にしあげたものであることを十分御理解いただきたいと存じます。何と云っても、世界の平和のためにはアジアの平和が前提であり、そしてアジアの平和のためには日本と中国との友好親善が

基礎となります。いろいろな機会に中国の方々とお会いすることによってその目的が達成できると信じております。

布赫団長 ただいまの木村議長からの暖かいお言葉に感謝します。われわれの代表団は、五つの省（河南省、江西省、遼寧省、内蒙古自治区、新疆ウイグル自治区）の責任者、国家経済委員会の幹部、中日友好協会の幹部と職員からなっています。

東京に参ってから、全国知事会から暖かい接待をいただいております。また先程は、衆議院の勝間田清一副議長にお会いしました。ただいま参議院の木村先生には、お忙しい中を会見してくださり、ありがとうございます。

中日両国人民の間の経済・文化の交流は悠久の歴史を持っています。中日両国は国交正常化のあと急速に友好往来が活発となり、とりわけ昨年は胡耀邦総書記が訪日し、本年は中曽根首相が中国に来られて、中日両国の交流は新しい段階に入ったと思います。

中日両国は一衣帯水の隣国であり、自然条件からいって、両国間の人事往来、経済交流のためにめぐまれた条件を備えております。この機会をかりて、今まで中日両国の関係正常化のため、友好交流促進のため尽力してこられた方々に感謝の意を表したいと存じます。

木村先生が言われましたように、中日友好は、アジアの情勢の安定に有効な役割を果たしています。中日両国は体制が異なりますが、経済交流を積極的に行うべきだと思います。これからも大いに発展させていきたいと思っております。

本日は、参議院議長先生ならびに副議長先生には、お忙しい中をお会いいただき、団員一同に代り心からお礼申しあげます。

ささやかなものですが、唐三彩の馬を差し上げます。また、五つの省の概況を差し上げます。

木村議長 折角いただきましたので、参議院御来訪の記念にメダルを差し上げたいと存じます。

王・遼寧省副省長 今言われましたが、木村先生はお若い時遼寧省の大連におられたそうですが、もう一度古い所にいらして下さい。

木村議長 私は小、中学全部を大連で過ごしましたが、3年前に大連に行きましたが、小学校のときの先生もおられてたいへん歓迎してくれました。生徒が私たちのために日本の歌や踊りをやってくれて、涙が出るほど嬉しかったです。

王・遼寧省副省長 中日友好のために尽くしてくださってありがたいと思います。また遼寧省、また、ほかの省にも来てほしいです。中国に来られれば、ぜひ今回の代表団の五つの省に来ていただきたいと思います。

(このあと本会議場見学を行った。)

(4) 藤波孝生内閣官房長官との会見

(4月9日(月) 16時12分～16時30分 院内大臣室)

同席者： 浅井基交外務省中国課長
根岸和時同課課長補佐(通訳)
丁民在日中国公使
石見隆三全国知事会事務総長

藤波官房長官 皆様お揃いでお出でいただき、心から歓迎いたします。先般来、中曽根総理、安倍外務大臣が訪中したときはたいへん歓迎して

いただきありがとうございました。趙紫陽、胡耀邦、鄧小平の各位にお目にかかり、また各地で熱誠あふれる歓迎をいただきましたが、これは中国全体の日本に対する好意の現れだとして日本国民全部が喜んでおります。

これまでも、歴代内閣がたいへんな努力をして、日中友好のための努力を積みあげてまいりました。また胡耀邦総書記が昨秋来日された際、日中不戦の誓いをし、堅い握手をかわしました。また両国で 21 世紀委員会をつくり、将来に向かって両国が永く仲良くやっていく基礎づくりを行いました。胡耀邦さんが日本で大歓迎されたことをたいへん嬉しく思っております。この気持を 21 世紀まで持っていきたいと思えます。

今度の旅は、皆様は、鈴木都知事が会長をしている全国知事会の招待で来られたそうですが、日本もいま地方の時代といわれ、国政レベルでは政府、各政党が政治、行政を行っていますが、地方における都道府県単位の行政も、それぞれの地方の特色を発揮しながら、全体として発展しております。その中で、全国知事会のウエイトはたいへん高いものがあります。中国の地方で最も大きな責任を有する省長の皆様が、日本の地方での発展ぶりとか仕事の進め方などをごらんになれば、御参考になる点もあろうかと存じます。そういう点においても、御歓迎申しあげます。

布赫団長 藤波官房長官には、お忙しい中を私たちと会見していただき、また暖かいお言葉をいただき、省長代表団を代表してお礼申しあげます。

藤波先生が言われましたように、いま中日の関係はたいへんよく発展しております。昨年秋は胡耀邦総書記がお国を訪問し、また、今年

になって中曽根首相が中国に来られ、中日関係は新しい段階に入りました。このすばらしい情勢の中で、私たちの代表団が訪日し、満足しております。

今回の代表団は、日本全国知事会の招きにより来日しましたが、暖かい歓迎をいただき感謝しております。今回の訪日は両国人民間、とくに地方政府、省県間の交流によい影響があるでしょう。中日両国の指導者と人民の努力により、経済、文化、友好の発展によい影響があるでしょう。

わが国は発展途上国であり、先進国に比べればまだまだ立ち遅れています。お国には先進的技術があり、われわれのためになるものを学びたいと思っています。中日間の経済・文化の交流の発展は、アジア、ひいては世界の平和と安定に大きな影響があると思います。

この3日間、私たちは東京の建設ぶりを拝見いたしました。行く先々で暖かく出迎えてくださいました。今後、両国間の政府および民間の交流がもっとさかんになることを祈ります。

藤波官房長官 中曽根首相がお会いできればよいのですが。本日は中国からの大事なお客様だということで、私も予算委員長の許可を得て出て参りました。

閣議がここで行われます。いすの数だけ大臣がおります。日本の大臣になった気分ですわってください。

(ついで、中国側から、みやげものとして景德鎮の磁器が官房長官に渡された。)

7 資 料

(1) 第二次中国省長訪日代表団

団長、団員、秘書長

略 歴

団 長 布 赫

男、1926年3月24日生れ（58歳）、

内蒙古自治区トゥムド左旗人。

内蒙古自治区文化局副局長、文教委員会主任、中国共産党包頭市委員会書記、フフホト市市長、国家民族事務委員会副主任を歴任。

現在内蒙古自治区人民政府主席、中国共産党中央委員。

団 員 何 竹 康

男、1932年2月12日生れ（52歳）、

江蘇省南通県人。

1953年ソ連モスクワ経済学院に留学。

河南省計画委員会総合部副部長、河南省計画委員会計画組副主任、主任、副省長を歴任。

現在河南省省長、中国共産党中央委員候補。

団 員 趙 增 益

男、1920年1月4日生れ（64歳）、

山西省平定県人。

雲南省人民政府計画委員会主任、副省長、省長代理を歴

任。

現在江西省省長。

団 員 王 光 中

男、1921年5月15日生れ（62歳）、

江蘇省沛県人。

国家計画委員会機械工業計画局局長、東北局計画委員会副主任を歴任。

現在遼寧省副省長、中国共産党中央委員。

団 員 黄 宝 璋

男、1936年8月15日生れ（47歳）、

河北省武邑県人。

新疆自治区計画委員会物資部副部長、部長を歴任。

現在新疆ウイグル自治区副主席。

団 員 劉 光 溥

男、1925年2月23日生れ（59歳）、

湖南省益陽県人。

1949年浙江大学（機械系）卒業。東北工業部、冶金工業部にて勤務。

国家經濟調度局技師長を経て現在国家經濟委員会外事局副局長。

秘書長 金 蘇 城

男、1925年1月30日生れ（59歳）、

吉林省人。

中国人民外交学会理事、中日友好協会理事、駐日中国大使館一等書記官、参事官を歴任。

現在中日友好協会副秘書長、中国人民对外友好協会常務理事。

随 員 許 金 平

男、1953年9月2日生れ（30歳）、

河北省人。

現在中日友好協会事務局員。

随 員 王 雲 濤

女、1953年4月7日生れ（31歳）、

山東省人。

現在中日友好協会事務局員。

日本語を話せる人の氏名：

金 蘇 城 、 許 金 平 、 王 雲 濤

(2) 関係省、自治区の位置図

写真あり

(3) 関係省、自治区の概要

省名(省都)	面積・人口	民族構成	地勢気候	農林水産業	鉱工業	主要都市
内蒙古自治区 (フフホト)	118.3万平方 キロ (日本全土の 3.1倍) 1,937万人	漢民族 80% 蒙古族 15% その他オロチョン 族、朝鮮族、満 州族等	標高1,000m前後の 高原地帯。草原と砂漠。 乾燥していて、寒暑の 差が激しい。	家畜頭数は全国1(羊、 やぎ、馬、牛、らくだ、 豚)。中国における主 要な木材供給基地。	石炭、鉄の埋蔵量が大。 包頭の鉄鋼コンビナー トは、鞍山、武漢とと もに全国三大鉄鋼生産 基地の1。	・フフホト(総合的 工業都市) ・包頭(鉄鋼業基地) ・集寧(肉類合同加 工工場)
河南省 (鄭州)	16.7万平方 キロ (本州の72%) 7,520万人	ほとんど漢民族。 回族(40万)、 蒙古族等も居住	西高東低で山地は500 ~2,000m。 夏は暑さ厳しく、冬は 寒冷で黄砂が来襲する。	小麦の生産高は全国1。 たばこは質・量とも全 国1。 牛皮生産は全国1。	鉱物資源、とくに石炭 と鉄が豊富。 鄭州と洛陽を中心に工 業が発展。	・鄭州(紡織、機械 工業) ・洛陽(中国の古都 でかつ新興工業都 市) ・開封(古都)
江西省 (南昌)	16.7万平方 キロ (本州の72%) 3,348万人	ほとんど漢民族。 回族(1万) その他も居住。	60%以上が山地 (300~1,500m)、 鄭陽湖(5,050Km ²) は中国最大の淡水湖。 気候は温暖。	南豊県のみかんは外国 でも知られている。す いか、柿も知名度が高 い。また、良質の紅茶 と緑茶を産する。	地下資源は豊富で、と くにタングステンは世 界1の生産高を示す。 また、中国1の陶磁器 の産地で世界各地に輸 出。	・南昌(人民解放軍 発祥の地) ・景德鎮(磁器を産 し、「磁都」と呼 ばれる)

<p>遼寧省 (瀋陽)</p>	<p>14.6 万平方 キロ (本州の 63%) 3,592 万人</p>	<p>漢民族 満州族 蒙古族 回族 朝鮮族</p>	<p>中部は広大な沖積平野 で海岸線は 1,300Km。 冬は寒冷で雨が少ない。</p>	<p>商品作物の第 1 は大豆 である。りんごの生産 は全国 1 で輸出もされ ている。</p>	<p>中国全体の鉄鉱石埋蔵 量の 6 割にあたる 46 億トンがある。石炭埋 蔵量は 300 億トン。 中国最大の重工業基地 で、鞍山鉄鋼コンビナ ートはその中心地。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瀋陽 (東北最大の 都市で 2,000 年の 歴史をもつ) ・ 旅大 (中国の主要 な貿易港の 1) ・ 鞍山 (「鋼都」と して名高い)
<p>新疆ウイグル 自治区 (ウルムチ)</p>	<p>160 万平方 キロ (日本全土の 4.2 倍) 1,361 万人</p>	<p>ウイグル族が 70%以上。 その他サガフ族 漢民族、回族、 蒙古族等。</p>	<p>東西に走る天山山脈に より南北に二分。タク ラマカン砂漠は中国最 大の砂漠。チョルギル 峰山 (8,611m) は 世界第 2 の高峰。海か ら遠いため乾燥気候。 夏期は中国最熱の地。</p>	<p>綿花が最も重要。つい で小麦、米、とうもろ こし等。 牧畜も盛ん (羊、やぎ、 馬、牛、らくだ等)。</p>	<p>広大な油田地帯が広が り、無尽蔵の石炭があ る。鉄鉱の埋蔵量は 1 億トン以上。鉄鋼業等 が発展しつつある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウルムチ (新興工 業都市) ・ カラマイ (石油工 業) ・ イーニン (電力、 毛紡織) ・ カシ (農業機械)

(4) 招 請 状 (全国知事会会長から中日友好協会あて)

知 渉 発 第 6 号

昭 和 58 年 6 月 13 日

中 日 友 好 協 会 御 中

全 国 知 事 会

会 長 鈴 木 俊 一

中国省長代表団の招請について

1980 年秋に全国知事会訪中代表団が貴国を訪問いたしました際は、貴会並びに訪問省・市の各位から格別の御配慮・御歓待を賜りましたことを心から感謝いたしております。

日中両国の県・省級の地方政府間の友好的交流をすすめ、地方行政に関する情報・経験の交換を行うことは、双方にとってまことに有意義かつ有益な事業であると存じます。

本会は、1984 年の 4 月又は 5 月に貴国省長代表団を日本へ御招待申しあげたいと存じます。

招待人員は 10 名（随員を含む。）とし、構成員としては、省、特別市及び自治区の行政機関の長の中から選ばれることを期特いたします。

また、代表団の日本における滞在期間は 2 週間とし、滞在費（宿泊費、食費及び国内交通費）は本会において負担いたします。

(5) 返 書 (中日友好協会から全国知事会会長あて)〔訳文〕

1983年9月7日

全 国 知 事 会

会 長 鈴 木 俊 一 先生

拝啓 まず貴下が全国知事会会長に再度選出されましたことをお祝い申し上げます。

知渉発第6号による御書簡を拝読しました。貴会の友好的な情誼に心から感謝いたします。貴会が中日両国の省県クラスの地方政府の交流のためなされた努力に敬意を表します。私どもは貴会のお招きを受け、1984年4～5月、第二次中国省長代表団を組織して訪日することに同意いたします。具体的人選、訪日の具体的時期等は後日お知らせいたします。

貴会の事業の不断の発展・隆昌を祈ります。

敬 具

中 日 友 好 協 会 ㊤

1983年9月7日

(6) 礼 状 (訪日代表団から全国知事会会長あて)

全 国 知 事 会

会 長 鈴 木 俊 一 先生

拝啓 新緑の候、先生には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度われわれ第二次中国省長訪日代表団は、全国知事会のお招きにより、日本を訪れる機会に恵まれ、東京、神奈川、京都、兵庫、熊本、長崎等の都府県を訪問し、知事先生方を始め、日本各界の友人の皆様から

暖かい、丁寧なおもてなしを受け、お蔭で円満に訪問の目的を果し、無事帰国することができました。衷心より感謝を申し上げます。

二週間の短い訪日ではありましたが、貴国の要人と会見でき、特に貴国地方自治体との交流を深め、日本人民の中国人民に対する厚い友情を身に染みて感じとることができ、忘れがたい思い出となりました。今後も両国間の友好四原則をふまえて、中日両国人民間の子々孫々にわたる友好と両国地方政府間の友好協力関係の発展のために努力を惜しまない所存であります。

貴国の繁栄と貴下の御健勝と御活躍をお祈りし、御挨拶と致します。

敬 具

中国第二次省長訪日代表团

一九八四年四月二十七日